

小学校5・6年生におすすめの本

2021

ブックセレクション



酒々井町立図書館

『ゴエさん』 児913ユ

結城乃香／作 朝日学生新聞社

幸太郎は江戸時代から造りししょうゆを営んでいる家の一人息子ですが、家業は経営不振、お父さんはやる気なし、お母さんはイライラ。そんな暗雲立ち込める家に、ある日汚いおじいさんが転がり込んできます。そのおじいさんはずっと昔の約束を守るため、大切なものを探しているというのですが…。



『となりのアブダラくん』 児913.6ク

黒川裕子／作 講談社

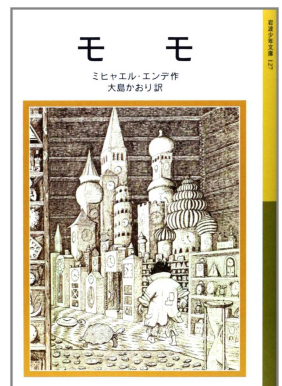
空手有段者の晴夜は、実はあみぐるみやカワイイものが好きなことを周囲に隠しています。パキスタン人でイスラム教徒の転校生・アブダラくんのお世話係に任命され、ヒジャブをかぶったアブダラくんの妹とも交流するうちに、お互い隠していた本音を知り、宗教や肌の色の違いを超えた友情を得ていきます。



『モモ』 児943エ

ミハエル・エンデ／作 岩波書店

円形劇場跡に住む不思議な女の子モモ。ある日、モモが住む町に灰色の時間どろぼうたちがやってきて、人々の時間を取り上げていきます。人々は急ぎ、ゆったりとした時間を無くし、その生活は追いつめられていきます。モモは盗まれた時間を取り戻すため、時間どろぼうたちと対決します。



『名探偵カッレくん』 見949リ

アストリッド・リンドグレン／作 岩波書店

スウェーデンの小さな町に住むカッレは名探偵になることを夢見る 13 歳の少年。エイナルおじさんの怪しい行動に第六感を働かせ、宝石泥棒であることを見破りますが、お城の地下室に閉じ込められ絶体絶命の大ピンチに！？シリーズに『カッレくんの冒険』『名探偵カッレとスパイ団』があります。



『江戸の空見師 嵐太郎』 見913.6サ

佐和みずえ／著 フレーベル館

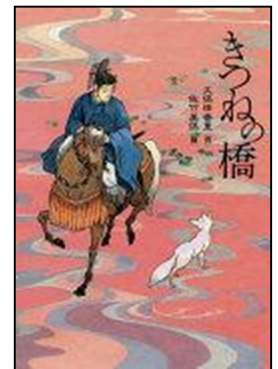
江戸の町で米つきをして働いている 12 歳の少年・嵐太郎は、空見（＝天気予報）が得意。ある時、嵐太郎の能力を知った奉行所から、「ペリーの黒船の次の来航日を予報する」という一世一代のお役目を命じられます。黒船来航の史実をもとにした幕末フィクション。少年の成長を描く物語。



『きつねの橋』 見913ク

久保田香里／作 偕成社

平安時代、京の都。元服後に、源頼光の郎党となった平貞道が、妖怪きつねに助けられながら活躍していく物語。名をあげることはばかり考えていた貞道が、きつねの誠実さにふれる中で、お互いの信頼関係が深まっていきます。そして、貞道が最後にとった行動は…。



『山をつくる 東京チェーンソーズの挑戦』

児 650 ス

菅聖子／文 小峰書店

苗木を植え収穫（主伐）するまでに50～60年程の年月が必要な林業に今、若者達が奮闘しています。現代のきこり「東京チェーンソーズ」を取材し、伐採や下草刈りに汗を流し、アイデアを駆使して木を売る様子を写真とともに紹介。次代のために森を育てる彼らの誠実な姿勢が伝わってきます。



『マチルダは小さな大天才』

児 933 ダ

ロアルド・ダール／作 評論社

マチルダは、3歳になる前に字が読めるようになり、4歳でディケンズやヘミングウェイを読みこなす天才少女。しかし両親はマチルダを「かさぶた」程度にしかならず、「物知らず」「ばか」と怒鳴ってばかり。また学校には、子どもたちに暴力をふるい、虫けらのように扱う女校長ミス・トランチブルが。そんな横暴な大人たちへ、マチルダは頭脳で立ち向かいます。



『おじいちゃんとの最後の旅』

児 949 ス

ウルフ・スタルク／作 徳間書店

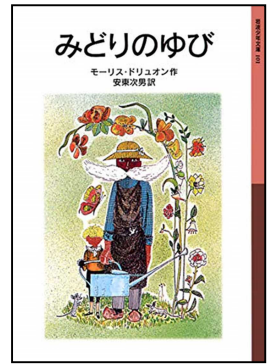
ロガが悪くて怒りっぽい祖父は入院をしていますが、亡き祖母との思い出がつまる住み慣れた家に行きたいと言います。その願いを叶えるため、ぼくはパン屋のアダムの力を借り、両親には内緒である計画を立てました。天国へ旅立つ日が近い祖父と孫の交流を描いた、切なくもユーモアにあふれた物語です。



『みどりのゆび』 児953ド

モーリス・ドリュオン／作 岩波書店

裕福に暮らすチト少年は、お父さんが兵器をつくる人だったことを知り、驚きました。自分が不思議な「みどりの指」を持っていることに気づいたチトは、町中に花を咲かせ…。

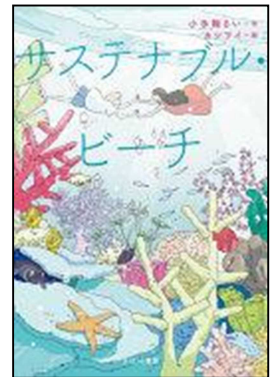


『サステナブル・ビーチ』 ティ913.6コ

小手鞠るい／作 さ・え・ら書房

「サステナブル・ビーチ」ー永遠に続いていく、すべての生き物たちのための、きれいな海辺。

小学校最後の夏休み、七海は母親と二人でハワイへ行き、深刻な海洋汚染を知ります。七海はピカケとある約束をし、七海の世界は大きく広がっていきます。SDGsをテーマにした物語。未来を生きる君たちに今、ぜひ読んでもらいたい1冊です。



『モギ ちいさな焼きもの師』 児933パ

リンダ・スー・パーク／著 あすなろ書房

両親を亡くしたモギはトゥルミじいさんに引き取られ、橋の下で暮らしています。二人には働くすべもなく、ゴミ捨て場から食べ物を探さなくてははいけません。モギの楽しみは、名焼きもの師ミンの作業をこっそり観察することでした。夢に向かって努力し諦めなかったモギ、貧しくても情けと誇りを忘れないトゥルミじいさん、青磁作り一筋に生きるミンと彼を見守るアジュマ。彼らの生きる姿が心に響く韓国の物語。



『魔女の宅急便』 児913カ

角野栄子／作 福音館書店

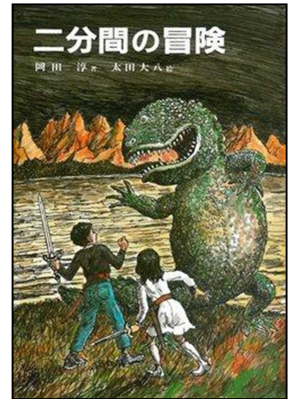
13歳の満月の夜、魔女の子キキはひとり立ちの旅に出ました。使える魔法はほうきで空を飛ぶことだけ。たどり着いたコリコの町で、空飛ぶ宅急便屋さんを始めます。相棒の黒猫ジジと悩みや喜びを分かち合いながら、成長していく一年間を描いています。全6巻



『二分間の冒険』 児913才

岡田淳／著 偕成社

小学5年の悟は、運動場の隅で黒猫ダレカに出会い、異世界に連れて行かれます。元いた場所に戻るにはダレカを見つけなければなりません。わかっているのは、ダレカは猫の姿をしていないこと、この世界で一番たしかなものの姿であること。一番たしかなものとは何なのでしょう。悟の長い長い二分間の冒険が始まります。

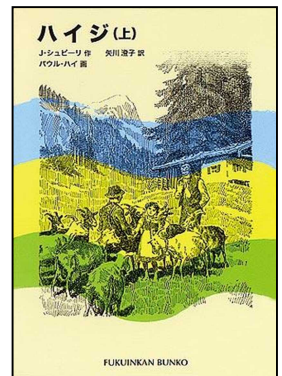


『ハイジ』 児943ス

J・シュピーリ／作 福音館書店

頑固で人付き合いの悪いアルムじいさんのもとへ、ある日孫娘のハイジがやってきます。ハイジはその優しさ、明るさで、病弱なクララやたくさんの人たちを励まし、元気にします。

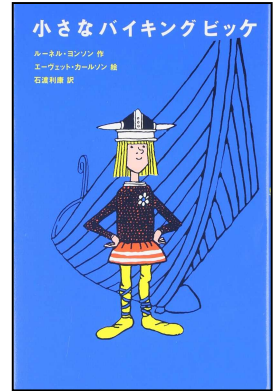
一度はぜひ手に取ってほしい古典の名作。あたたかな気持ちになれる物語。



『小さなバイキングビッケ』 見 949 円

ルーネル・ヨンソン／作 評論社

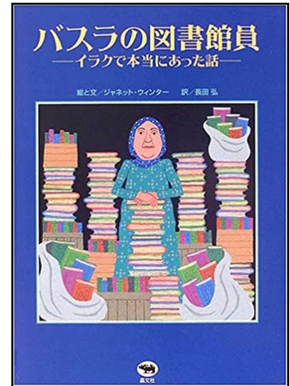
ビッケのお父さんはフラーク地方のバイキング族長。大人の海賊に交じってビッケも旅に出ます。スパイ、変装、時には話し合い。決して相手を傷つけません。ビッケから火花が飛び散ったら作戦がひらめいた合図。知恵を働かせてお父さんや仲間のバイキングたちを助けます。小さなバイキングビッケのゆかいな物語。全6巻



『バスラの図書館員』 見 9 円

ジャネット・ウインター／絵と文 晶文社

バスラはイラクの文化的中心都市です。バスラの女性図書館員・アリアさんは、戦火から図書館の本を守ろうと、街のみんなの助けを求め、夜、3万冊の本を家に運びます。図書館が消失したのは、その9日後でした。



『モーツァルトはおことわり』 見 933.7 円

マイケル・モーパーゴ／作 岩波書店

世界的なバイオリニスト、パオロ・レヴィは決してモーツァルトの曲を演奏しません。その秘密とは…。戦争のむごさと共に、音楽を力にして生き抜いた人々の姿を、たくさんの美しい絵とともに描きます。



利 用 案 内



初めて本を借りる時

「貸出カード」を作りましょう。住所の確認できるもの（名札・はがきなど）を持ってカウンターで申し込んでください。

本を借りる時

「貸出カード」と一緒に借りたい本をカウンターに出してください。一人 10 冊まで、2 週間借りられます。CD・DVD は 2 点までです。

本を返す時

借りた本をカウンターに出してください。（貸出カードは必要ありません）図書館が閉まっている時はブックポストに返すこともできます。

本が見つからない時

貸出中の場合は予約することができます。また、図書館に所蔵がなくても、取り寄せできる場合があります。「リクエストカード」に書いてカウンターに出してください。

「読書通帳」に記録しよう

借りた本のタイトル・著者名・分類を読書通帳に記録することができます。読書通帳をまだ持っていない方は、職員に教えてください。

